

### 第3回総合振興計画外部評価委員会 議事概要

日時：10/14(火)午後7時～@和泊町役場結いホール

○第1回の外部評価委員会後、各委員が評価シートを記入・事務局に提出し、とりまとめた評価結果を事務局が説明。総合振興計画の各プロジェクトの今後の方向性（**拡充、現状維持、縮小、見直し**）について、今後、外部評価委員会から町長への提言としてまとめるべく、今回は下記の3プロジェクトについて意見交換を行った。当日出た意見は下記のとおり。

#### ①みへでいろプロジェクト

- ・追い込み漁の事故があったが、今後も継続していくのか。
- ・すでに島内で動いているマルシェはたくさんあるが、それらとの連携は今後どのように考えているか。既存のものと連携することでコストを下げられるのではないか。
- ・島の農業作物で、さとうきび、ばれいしょ以外の品種や栽培時期を島民は意外と知らない。漁業にも同じことが言えるので、そういうシーズンがあることをもう少し押し出してみてはと思った。魚がよく獲れる期間や、禁漁期間も一緒に掲載してほしい。
- ・島の基幹産業である農業と観光を掛け合わせることをやっていきたいと以前から思っていた。例えば農業体験とかと絡めるとか、そういう考えはあるか。
- ・観光協会では、ゆりを見たいという声をよく聞く。実験農場や、見せて良い農家の方がいれば案内できたら良いなと思うことがある。案内方法とともに含め連携させてもらいたい。
- ・島外の観光客で農業体験のニーズはある。これまで団体客のツアーや、花き農家の収穫体験等やっているが、農家の繁忙期を避ける必要があるので、時期が限定されるところがある。
- ・大型農家であれば、繁忙期は人材を必要としている。ボランティアのような形で体験してもらえば、農家は助かるのではないか。
- ・花の収穫はある程度経験がないと難しいところがある。出荷できないものについてはフラワーアレンジメントをして持って帰ってもらうなどできるのではないか。

#### <評価>

委員の挙手により、拡充に決定。色々な団体との連携をしていくという趣旨。

#### ②ようていあしばープロジェクト

- ・この事業に限らないが、町の公式LINEもある中、町の事業についての報告がHPにしか上がらないで、情報発信方法が身近ではないと感じることが多い。今後の発信方法にLINEも加えてもらえないか。
- ・提言案に、各機関と連携を図るとあるが、具体的な方向性があれば教えてほしい。
- ・総合交流施設建設が中止となった代わりに、各学校の体育館が活用されていくという理解で良いか。
- ・体育館以外の町の施設の改修や再活用は何か考えているか。
- ・学校の統廃合についてはどういう方向性になっているか。座談会も開催するという話だったが。
- ・業務上障害者の方が活動を行う際に、段差がある公共施設が多い。一番気になるのはトイレで、洋式トイレはあるが段差があることが多い、不便を感じる。そういう面で、やすらぎ館は空調もトイレも使いやすく、よく利用しているが、今後体育館にもそういう配慮がされるのであれば団体としてもどんどん活用しやすくなると思う。工事に時間も費用も掛かると思うが。
- ・施設の修繕にかかる費用の調達方法として、クラウドファンディングがある。最近はガバメントクラウドファンディングという方法もあると思うが、学校とかを対象にすれば、島内・島外問わず、母校のために協力してくださる方もいるのではないかと思っており、相性が良いのではと思ったりする。そういう案は出していたりするか。
- ・総合振興計画では雨や猛暑の日も安心して子供を遊ばせることができることが、総合交流施設建設のメリットとして挙がっていた。実際、家庭ではそういうニーズはあるのか。
- ・スマッピーの利用数は6月以降の夏の期間にすごく増える。その他、長期休みになると知名町からの来所も多く、知名町にもそういう施設があれば良いなという声もよく聞く。

- ・私が子どもの頃は体育館を借りてピクニック代わりに体育館で遊んだりしていたが、今はそういう体育館などの公共施設を借りにくいイメージがある。そういう使い方をしてよいのであれば、その旨役場から発信をしてほしい。
- ・みーやプロジェクトに関わっていた際に、島でも多目的空間として親子でしている例があった。梅雨時期に子どもたちがボルダリングで遊べたり、お母さんたちは食事を持ち寄ってランチ会をしたり、公民館ではできないプライベートな使い方ができたこともあり、そういう空間があると助かるという話は聞いていた。
- ・今年の夏公民館にクーラーを入れて開放していた。そんなに大きな箱でなくても、20人くらいが集まれる場所があれば。区長によっても考え方が違うそうだが。
- ・集まってOKな場所については、クールシェアスポットとして登録して、いろんな人が集まるようにしていけば良いのでは。古民家でも近くにそういう場所があると、徒歩で行けて使いやすい。
- ・各公民館がそういう使い方ができる場所になれば、徒歩圏内だしすごく使いやすい。子どもが外に出ることも増えるのではないか。
- ・知名町のフローラルホテルの旧館をコワーキングスペースとして開放しており、数百円で使えるので夏は高校生のたまり場になっている。高校生の口コミで広がっているのだろう。スタバなどの喫茶店にいくより経済的というのもあるだろう。
- ・本事業の目的は施設ではなく、みんなで集まって交流するということ。小さな施設を束ねて利用することで、大きな箱物の目的は達成されるのかもしれない。スマッピーだと遠いが、近くの公民館だと使いやすいという意見もあると思う。
- ・デマンドバスを使って、すべての公民館を制覇する、スタンプラリーをやっても面白いかも。
- ・公共交通機関は行き先がわかっているので安心。バスの乗り方も覚えられるし。
- ・子どもも多世代が遊べるような工夫が必要。未就学児だと、フロアマットなど安全面が整備された施設が、例えば各字に整備されると行きやすい。そういうのに特化している集落があれば面白いかも。
- ・知名町にはベビーベッドやおむつ台があるとか、店の座敷の有無等の情報を一つにまとめた子育てマップのようなものがある。和泊町分も含めて載せててくれており、子育てる側はすごく使いやすい。町主導になればそういうのも作りやすいのではと思う。
- ・このプロジェクトはこの字主体、とかこの字で整備する、とか決めて、和泊町の各字で分散してやっていくのも良いかもしない。
- ・なるべくお金をかけないという観点で、今あるインフラをうまく利活用し便利にしていく考え方を大事にするのは良いかと思った。

#### <評価>

ハード面は見直し、ソフト面は拡充ということで決定。

#### ③あたらむープロジェクト

- ・生ごみ処理について、新規の申請者だけではなく、今の使用者の追跡調査にも努めてほしい。自分も購入して3年ほど経過したが、臭いも出ず、助かっている。調査に協力してくれる人も多いと思う。臭いどころか、いい匂いもする。
- ・自分はキエーロを買ったが、継続できておらず、乾燥させる機械に買い替えが可能なのか等の発信があればありがたい。
- ・液肥の使い道もない状況なので、その辺もうまく使えるのであれば発信してほしい。
- ・効果があるのであればその発信をもっとすれば、購入者を増えるかもしれない。
- ・普段のごみ捨て時に、リサイクルマークや発泡スチロールのトレイ、紙ごみなど、他の地域で分別回収しているものを燃えるゴミで出すのは罪悪感がある。そのあたりを解決できないか。熊本では油を回収し燃料にしている企業もある。
- ・分別せずに燃焼することで、炉にも負担がかかる。設備の延命化に億単位の費用が掛かることを町民にも周知していけば、なるべく燃やす量を減らしていくような流れになっていくのではないか。最終処分場の容量もある。そういうマイナスな面も提示した上で、どちらの未来を選ぶかという話をていっては。
- ・LINEの発信について、主婦層はLINEを見ている人も多い。HPまでわざわざ行く人は少ないか

もしれないが、どこかでそういうことが話題に上がれば、考えるきっかけになる。そういう発信は定期的に、しつこくやっていく必要があるだろう。

- ・クリーンセンターにごみを持って行ったときに研修をやってくれて、最終処分場の話などを聞くと意識改革になると思う。そういう経験をレポートにしていけば良いかもしれない。
- ・ビーチクリーンをしていても、結構島内から出ているものもあったりする。
- ・分別の細分化については、最初は面倒だと思うが、慣れればできるのではと思うところもある。一方で、苦手だと感じる人も多いので、慎重にやっていかないといけないのかもしれません。
- ・島内の職場体験をずっと前からしたいと思っていた。定期的にそういうのをやれば、移住した人も溶け込みやすいのでは。役場企画課、島づくり共同組合、クリーンセンターなど。
- ・段ボールや空き缶なども鹿児島まで持っているのを知らなかった。情報発信も必要だろう。

<評価>

拡充で決定。

- ・こういう町の計画があることを知つてもらうという意味で、SNS 発信を検討されないか。10代の子どもたちはもちろん、主婦層など現役世代も見ている。
- ・各事業、定量的にどこまで進んでどの段階なのか、ゴールがもう少し明確だと良いのではと思った。
- ・各事業でコラボするなど、協力体制をもっと持つても良いのではと感じた。

○事務局より、次回日程を連絡し、終了。

(以上)